

③避難の流れ(風水害編)

台風などの風水害は、ある程度は発生や経過を事前に予測することもできますが、油断せず、ハザードマップなどを活用し、災害の種類や被害の状況に応じてどこに避難するのか、また、どのようにして避難するのかをあらかじめ確認し適切に行動しましょう。



あなたの避難先は？

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認し、避難先を考えましょう。

避難先の検討フロー

必ず考えてみてください！！

ハザードマップ※1で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。



家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、紀の川市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、**立退き避難**(自宅の外に避難)が必要です。

例外

浸水の危険があっても、

- ① 浸水する深さよりも高いところにいる
- ② 浸水しても水が引くまで我慢できる、水食糧などの備えが十分にある場合は**屋内安全確保**(自宅に留まり安全確保すること)も可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

高齢者等避難(警戒レベル3)が出たら、**安全な親戚や知人宅**に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

高齢者等避難(警戒レベル3)が出たら、紀の川市が開設している**避難所等**※2に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

避難指示(警戒レベル4)が出たら、**安全な親戚や知人宅**に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

避難指示(警戒レベル4)が出たら、紀の川市が開設している**避難所等**に避難しましょう

※1 ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

※2 開設する避難所は災害の種類や被害の状況で異なります。(防災行政無線やメール配信等でお知らせします。)